

「保土ヶ谷駅前公園愛護会設立・COEN プロジェクト」

1. 過去の事業報告

- ・ 第4回「保土ヶ谷駅前公園愛護会準備委員会・COEN プロジェクト会議」
- ・ 平成24年9月12日（水）
- ・ 8月より四回にわたって行政、地元の学生から自治会、商店会、NPOの方をはじめ地域活動を主体的に進める方々と協働して①保土ヶ谷駅前公園への愛護会設立②同場所での地域振興事業の企画などを行う場所を設けてきました。いずれも機会も世代の異なる様々な背景の方が集い、地域愛に満ちた楽しく活発な席でみなさんたのしみにして参加していただき、横浜市の街区公園の清掃課題へのひとつの回答として保土ヶ谷駅前公園の愛護会の設立に至りました。また、同公園へより親しみが持てるよう公園名称は「ほどじゃが公園」に改称、愛護会名称の届け出も「ほどじゃが公園愛護会」となりました。

2. 今後の事業予定

- ・ 「ほどがや宿場まつり COEN プロジェクト」
- ・ 日時 平成24年10月7日（日）、8日（月） 11:00～14:30
- ・ 場所 ほどじゃが公園（保土ヶ谷駅前公園）
- ・ 内容 「ほどじゃが公園愛護会」設立からはじめての活動機会です。

① ほどじゃがつかだれグランプリ

世界のじゃがいも発祥はジャカルタ、日本に初めてじゃがいもが入ってきたのは幕末の黒船来航の頃で、保土ヶ谷が発祥と言われています。昭和20年ごろまでは保土ヶ谷で栽培されたじゃがいもが全国に発送されていた。ちょうど今回の事業が行われるほどじゃが公園あたり(保土ヶ谷駅前公園)は昔、貨物駅のホーム。そこから全国にじゃがいもが運ばれていたそうで、保土ヶ谷から北は青森、南は山口まで出荷されていた例もあるそうです。

10年ほど前までは保土ヶ谷じゃがいも(ほどじゃが)の名前で出荷されていました。品種の名前は「きたあかり」。今でも保土ヶ谷区では、たくさんのじゃがいもが生産、出荷されていることを地域の人にたのしんでいただきながら伝え、名物として発展させることが本事業の趣旨です。

2日間でほどじゃがを四種のつけだれから投票してもらう企画です。

② むかしあそび

親子であそべるむかしあそび、けん玉、めんこ、折り紙を公園内で楽しめます。

③ 保土ヶ谷語り部

旧東海道の宿場まちであった保土ヶ谷。史跡も数々ありますが、開港以降で現代に至るまでの歴史、変遷、地域の名物名所などを「語り部」の方より資料とともに地域の方々に知っていただく機会です。

④ その他

ほどじゃが神輿、地元の子供たちによる貼り絵なども公園内で行われます。